

定義不要であらゆる帳票を即データ化

OCR ソフト国内シェア No.1 ^(注1) の PFU、新 AI-OCR 「PaperStream AI」 を販売開始

独自技術と生成 AI の融合により認識精度 99.99% ^(注2) を実現、生産性を向上し事務処理の人手不足を解消

株式会社 PFU（社長執行役員：平原 英治、以下 PFU）は、帳票入力業務における手入力依存の運用を大幅に効率化するクラウド型 AI-OCR サービス「PaperStream AI」を、2026年4月21日から販売開始します。（提供開始は5月14日）

「PaperStream AI」は、帳票ごとの定義作業を行うことなく、スキャンするだけで多様な帳票を高精度な構造化データへ変換できる AI-OCR サービスです。これまで AI-OCR 導入の障壁となっていた定義作業や初期設定の負担を不要とし、注文書・請求書・領収書など、形式が異なる帳票でも、導入後すぐに業務フローへ組み込んで活用いただけます。

本サービスは、PFU が世界シェア No.1 ^(注3) のスキャナー「RICOH fi Series」および、国内シェア No.1 ^(注1) の OCR ソフトウェア「DynaEye」で培ってきた画像処理・OCR 技術と生成 AI を融合しています。帳票全体の構造解析結果と高精度な文字認識結果を統合して総合的に判断する独自技術により、文字認識精度 99.99% ^(注2) を実現しました。

「PaperStream Capture Pro / Capture Pro Premium」を活用し、スキャン、画像確認、帳票仕分け、OCR までを 1 つの流れで実行できます。OCR 処理自体が高速なことに加え、OCR の進行に合わせて抽出結果の確認・修正を同時に行えるため、一般的なクラウド型 AI-OCR サービスと比較して最大約 98% の待ち時間短縮 ^(注4) が可能です。

人手不足が深刻化する中、紙帳票を起点とした業務は多くの企業で依然として残り、紙帳票に含まれる情報を AI で扱える構造化データに変換する工程がボトルネックとなっています。

PFU は「PaperStream AI」の提供を通じて、紙情報を AI が扱えるデータへ変換し、業務プロセスの変革を同時に実現してまいります。

背景

多くの企業では、取引先や仕入れ先ごとに形式が異なる注文書や請求書、領収書などが日々発生しており、その内容を目視で確認しながらシステムへ手入力しているのが実情です。加えて、郵送や FAX で届いた紙だけでなく、メール添付で受け取る PDF など受領形態が混在し、業務部門ごとに取り込み手順やツールが分かれやすいことも、作業負荷や運用のばらつきにつながっています。また、月末や期末には帳票が集中し、残業や入力ミスの要因となっています。

こうしたデータ入力業務の課題を解決する手段として AI-OCR は注目を集めていますが、帳票ごとの定義設定や運用立ち上げの負担、認識完了を待ってから確認作業に入ることによる待ち時間などが導入・定着のハードルになるケースもあります。

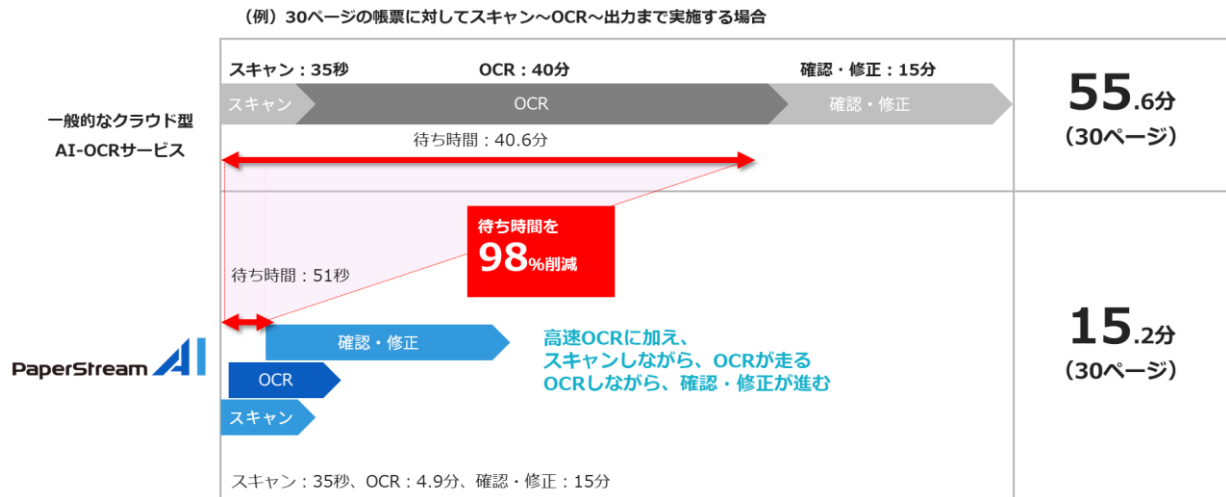
さらに、さまざまな業種・業務において、人手不足が深刻化する中、生産性向上のために AI 活用が欠かせないものとなりつつあります。一方で、AI 活用が進むほど、精度向上や適用領域の拡大に必要となる「大量かつ多様なデータ」の確保が新たな課題として顕在化しています。

その解決策として着目すべきは、企業に蓄積されている非構造化データを、AI が扱えるかたち（構造化データ）に変換することです。企業では、紙や FAX、PDF などの形で日々生まれている重要な情報が、いまなお紙を起点に多く残っています。これらの情報の多くは非構造化データのまま蓄積されており、AI で扱える形（構造化データ）へ変換する工程がボトルネックとなっています。

この課題に対して、スキャナーと AI-OCR により紙情報をデータ化し、後続の業務へ連携して活用できる状態にすることで、現場の効率化に加え、AI 活用の可能性をさらに広げることができます。

3. 高速 OCR 処理と並行して行える確認・修正で、高いトータル作業効率を実現

複数 OCR エンジンと生成 AI を組み合わせて並列処理を行う独自技術によって、高速な OCR 処理が可能です。さらに、一般的なクラウド型 AI-OCR サービスのように「OCR の認識が完了するまで待ってから確認する」のではなく、OCR の進行に合わせて確認・修正を同時に行えるため、待ち時間を最小化できます。例えば一定条件下では、約 98% の時間短縮^(注4) が可能です。これにより、処理量が多い場合でもスキャンから出力までのトータル作業時間を短縮します。



4. 運用時の修正内容を学習し、ライセンス共用で全社最適化を実現

「PaperStream AI」は処理枚数に応じたプランを用意しており、全社で 1 ライセンスを導入し、複数部門で共用する運用にも対応しています。例えば、営業部門と経理部門でそれぞれスキャナーや「PaperStream Capture Pro / Capture Pro Premium」を利用している場合、それぞれの業務で行われた修正内容が帳票種ごとに蓄積・学習され、部門をまたいで認識精度の向上に活かされます。学習は自社の運用データをもとに行われるため、他企業の影響を受けません。少量の処理のみを行う部門にも展開しやすく、全社で入力業務の効率化と投資効果の最大化を図ることができます。さらに、ダッシュボード機能により、処理枚数やジョブ別の読取状況、オペレーターごとの処理量などを一目で把握可能です。進捗に応じて業務フローの見直しなど、運用改善をタイムリーに行うことができます。



5. 入力形態がバラバラでも同じフロー・同じ操作で完結

「PaperStream Capture Pro / Capture Pro Premium」と「PaperStream AI」の連携により、スキャンから画像確認、帳票仕分け、OCR までを 1 つの流れで実行でき、画面や作業の切り替えを減らして効率良く進められます。そのため、郵送や FAX で届いた紙だけでなく、メール添付^(注5) で受け取った PDF など入力形態が混在していても同じフローで取り込みからデータ化を行うことができるため、紙とデジタルデータ、どちらのやり取りも発生する現場にも導入しやすく、デジタル活用への移行もスムーズに進められます。

導入から運用までを支援する「PaperStream スタートアップサービス」

導入準備にかかる時間をできる限り短縮したい場合や、社内リソースが限られる中でも確実に立ち上げたいお客様に向けて、当社の専門技術者が初期設定や連携フローの設計から調整、運用定着までをサポートする「[PaperStream スタートアップサービス](#)」もご用意しております。

本サービスでは、OCR 結果と基幹システムのマスタ情報（例：取引先コード／取引先名／仕入先コードなど）との照合、および後続システム連携に必要な設計・設定・適用までを当社の専門技術者が担います。個別開発を抑えながら、データ検証の自動化から後続システム連携までを纏めて実装できる環境づくりを支援します。

価格・商品構成

<クラウドライセンス>

商品名	契約期間 (注6) (注7)	価格 (税抜) (注8)	認識可能なページ数 (注9) (注10)
PaperStream AI S プラン基本ライセンス 1年 (10,000 ページ/年) (注11)	1年	300,000 円/年	10,000 ページまで
PaperStream AI M プラン基本ライセンス 1年 (50,000 ページ/年) (注11)	1年	1,000,000 円/年	50,000 ページまで
PaperStream AI L プラン基本ライセンス 1年 (200,000 ページ/年) (注11)	1年	2,000,000 円/年	200,000 ページまで

<PC ライセンス>

商品名	対象機種	価格 (税抜)
PaperStream Capture Pro (注12)	fi シリーズ : fi-7480 / fi-7460 / fi-8290 / fi-8270 / fi-8250 / fi-8190 / fi-8170 / fi-8150 / fi-8040 / fi-800R / fi-7300NX / fi-70F / SP-1425 その他 : A4/レターサイズ以下の読み取りが可能な TWAIN ドライバ対応のスキャナー/複合機 (注13)	35,000 円/年
PaperStream Capture Pro Premium (注12)	fi シリーズ : 上記機種に加え、fi-8950 / fi-8930 / fi-8820 / fi-7700 / fi-7700S / fi-7600 その他 : TWAIN ドライバ対応のスキャナー/複合機 (注13)	150,000 円/年

販売開始日

2026年4月21日（提供開始は5月14日）

商標について

- PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
- DynaEye は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
- その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

注釈

- 注1：「OCRパッケージソフトウェア 国内シェアNo.1」は、「DynaEye シリーズ」を対象とする、富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2025年版」<2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）>（提供形態：パッケージソフトウェア）の日本国内における集計に基づく。
- 注2：PFU 基準帳票（活字）を300dpi・フルカラーでスキャンした画像を対象に、当社にて実施した検証結果です。認識精度は、一部の文字（スペース、カンマ、改行）を評価対象外とし、学習処理後の PaperStream AI の認識結果と当社で作成した検証用正解データを基に算出した実測値です。
- 注3：ドキュメントスキャナーを対象とする。日本・北米はKEYPOINT INTELLIGENCE 社 (InfoTrends)により集計（2024年実績）。ドキュメントスキャナー集計より Mobile/Micro を除く 6セグメントの合計マーケットシェア（主に8ppm以上のドキュメントスキャナー全体）。欧州はinfoSource 社（2024年実績）の集計に基づく、西欧地区（トルコとギリシャを含む）におけるシェア。
- 注4：当社にて、A4 請求書（活字）を300dpi・フルカラーでスキャンした画像を対象に行った検証結果です。OCR 処理時間は、認識処理の開始から PaperStream AI の認識完了までの時間を計測しています。また、スキャンおよび確認・修正時間は、一般的な業務を想定した前提条件に基づく試算値です。帳票内容、業務手順、運用環境により、作業時間短縮効果は異なります。
- 注5：「ファイルインポート」機能を利用するには、「PaperStream Capture Pro」と「PaperStream AI」のライセンス購入、または、「PaperStream Capture Pro Premium」のライセンス購入が必要です。
- 注6：1年間の処理量が上限（S：10,000ページ/M：50,000ページ/L：200,000ページ）に達しなかった場合でも、翌年に残数の持ち越しはできません。
- 注7：複数年契約を行う場合は、同一タイプの基本ライセンスを複数年分購入することで対応します。認識可能なページ数のカウントは、1年ごとにリセットされます。
- 注8：1ライセンスあたりの価格です。「PaperStream AI」のライセンスは、「PaperStream Capture Pro 6.0.0以降」または「PaperStream Capture Pro Premium 6.0.0以降」を導入済みの同一法人内であれば、1ライセンスの契約で複数PCから利用可能です。
- 注9：複数PCで共有して利用する場合、各PCで処理したページ数は同一契約内で合算してカウントされます。
- 注10：認識可能ページ数は契約期間をまたいで繰り越すことはできません。カウントは1年ごとにリセットされます。基本ライセンスに対して、認識可能ページ数の5%までの超過利用を許容しますが、超過利用分は次回更新時の認識可能ページ数から差し引かれます。
- 注11：「PaperStream AI」の利用には、「PaperStream Capture Pro（6.0.0以降）」または「PaperStream Capture Pro Premium（6.0.0以降）」のライセンス購入が必要です。
- 注12：「PaperStream Capture Pro / Capture Pro Premium（5.0.0以降）」を利用中のお客様は、「[PaperStream Capture Pro / Pro Premium ソフトウェアダウンロードページ](#)」より、セットアッププログラムを無償でダウンロードしていただくことで、最新バージョンをご利用いただけます。
- 注13：すべての他社スキャナー / 複合機の動作を保証するものではありません。他社製品で「PaperStream Capture Pro / Capture Pro Premium」をご利用の場合は、導入前に[無償評価版](#)にて動作確認を行ってください。

関連リンク

- ・ PaperStream Capture Pro / Capture Pro Premium / PaperStream AI 製品紹介ページ
<https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/capture-pro/>
- ・ PaperStream スタートアップサービス製品紹介ページ
<https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/capture-startup/>

お客様お問い合わせ先

株式会社 PFU

イメージング サービス&サポートセンター

<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>

報道関係者お問い合わせ先

株式会社PFU

コミュニケーション戦略センター 広報部

E-mail : pfu-press@ml.ricoh.com

PFU について

株式会社 PFU は 1960 年に創業し、コンピューター開発で培った技術を基に、イメージスキャナーに代表されるドキュメントイメージング関連商品・サービス、並びにお客様の安心安全に貢献する IT インフラの構築・運用支援サービスを提供しています。PFU はお客様の業務プロセス改革・DX に貢献するエッジデバイスを進化させ、それを支えるサービスを提供し、持続可能な世界の発展に貢献してまいります。

詳細は Web サイト (<https://www.pfu.ricoh.com/>) をご覧ください

リコーグループについて

リコーグループは、お客様の DX を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約 200 の国と地域で提供しています（2025 年 3 月期グループ連結売上高 2 兆 5,278 億円）。

“はたらく”に歓びを創業以来 85 年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>

※プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。